

# 第52回 新潟市緑化審議会

議案第1号

保存樹等の指定について(諮問)

(申請樹木10及び申請樹木14について)

令和2年9月  
(書面開催)

# 保存樹等の指定基準について

新潟市樹木の保存及び緑化の推進に関する条例施行規則第3条に規定

## 保存樹

次の①～⑤の一つに該当し、**健全**で、かつ、**樹容が美観上すぐれているもの**。

- ① 1.5mの高さにおける幹の周囲が1.2m以上であること。
- ② 高さが12m以上であること。
- ③ 株立ちした樹木で、高さが2.5m以上であること。
- ④ はんと性樹木で、枝葉の面積が20㎡以上であること。
- ⑤ 希少又は珍重価値が、特にすぐれていること。

## 保存樹林

次の①、②のうち一つに該当し、その集団に属する 樹木が**健全**で、かつ、その集団が**良好な生活環境を維持し、美観上すぐれているもの**。

- ① その集団が存する土地の面積が、300㎡以上であること
- ② 生垣をなす樹木の集団で、その生垣の長さが20m以上であること

## 議案第1号 保存樹等の指定について(諮問)

「新潟市樹木の保存及び緑化の推進に関する条例」第7条に基づき、下記の樹木を保存樹等に指定してよろしいか諮問します。

### 申請樹木10(シラカシ)について

- ・議決用紙のご意見の中で、シラカシの樹種名に関するご意見を頂きました。
- ・意見を踏まえ、緑化審議会長と再度確認し、専門家へ確認を行いました。

### 委員より頂いたご意見(抜粋)

#### ○岩田委員

- ・資料写真から、申請樹木10シラカシの葉の鋸歯が通常のシラカシより細かく、鋭いように思われた。殻斗がどのような形なのか興味深い。

### 対応について

- ・緑化審議会長を通じ、国立研究開発法人森林研究・整備機構九州支所の山川博美博士に写真を送付し確認したところ、ウラジログシであると回答を頂きましたことから、申請樹木10について、シラカシでなくウラジログシとして保存樹に指定することについて再度採決を行うことといたします。

# ウラジロカシ



## 【ぶな科】【コナラ属】

- ・宮城、新潟県以南から琉球列島及び済州島、台湾の暖帯に分布。
- ・山地にはえる常緑高木。
- ・枝葉は多く茂り高さ20mくらい。葉は互生。長さ7～15cmで薄い革質、表面はつやがあり、裏面は蠟質を分泌し白色。
- ・若い葉は絹毛があるがのち無毛。花は春。堅果は翌年秋に熟す。
- ・和名は葉裏が白色であるからいう。

参考文献：牧野富太郎(1997)『原色牧野植物大図鑑』(離弁花・単子葉植物編)北隆館



・会長を通じて国立研究開発法人森林研究・整備機構九州支所の山川博美博士に確認を頂いた結果、ウラジログシであると回答を頂きました。

## 議案第1号 保存樹等の指定について(諮問)

「新潟市樹木の保存及び緑化の推進に関する条例」第7条に基づき、下記の樹木を保存樹等に指定してよろしいか諮問します。

### 申請樹木14(ケヤキ)について

- ・議決用紙による採決の結果、2名の委員から反対意見を頂きました。
- ・意見を踏まえ、再度状況を確認し、対応について緑化審議会長と協議しました。

### 委員より頂いたご意見(抜粋)

#### ○岩田委員

- ・申請樹木14については、申請樹木13の被圧(優勢な樹木に圧迫されること)をうけており、かつ過去に行われた大枝剪定の後、回復せずに枯損した部分もあり、樹勢は低下傾向にあると考察した。健全な状態と考えにくく、保存樹の指定基準に該当しないと判断した。

#### ○佐藤委員

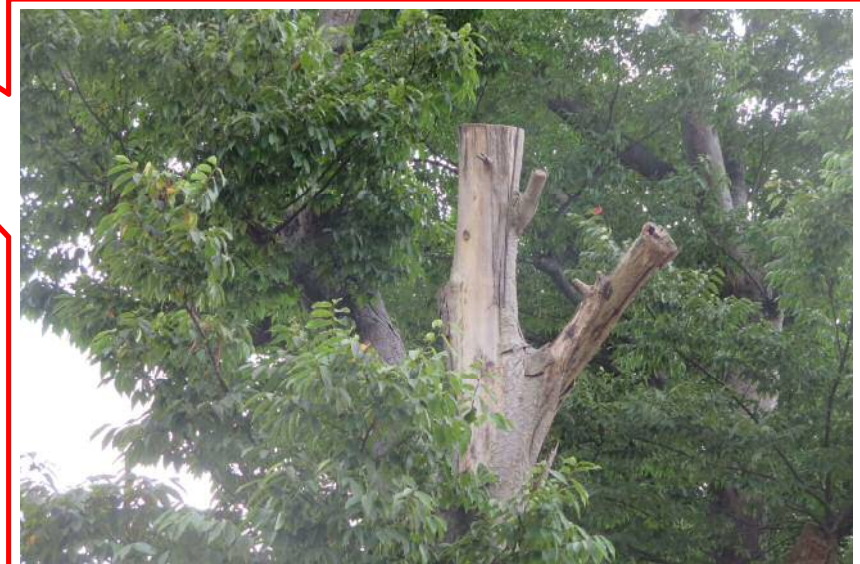
- ・14のケヤキは写真で見る限り、大枝が枯損していく扁形となっており、ケヤキの本来の樹形からすると、美観を損なっているように見受けられます。

### 対応について

- ・保存樹の指定基準である、健全で美観に優れているかについてのご意見であり、再度確認の結果、基準に合致しないと考えられることから、議決用紙では賛成多数であります。保存樹に指定しないことについて、再度採決を行うことといたします。

# 申請樹木 14(ケヤキ) 状況確認結果

議案第1号 保存樹等の指定について(諮問)



・再度確認したところ、ご指摘の通り枯損している枝があり、健全で美観に優れているとの基準に合致しないと考えられます。